

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	RPOC(retained products of conception)、胎盤遺残に関する後ろ向き観察研究－全国アンケート調査－
研究責任者	井出早苗
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	RPOC(retained products of conception)とは「流産、分娩後に妊娠付属物(胎盤、卵膜)の一部または大部分が娩出せず、子宮腔内に残留すること」であり、いわゆる胎盤遺残もこれに含まれます。RPOCを有する場合、大量出血や子宮内感染症を合併することがしばしばあります。リスクファクターに高年妊娠や生殖補助医療が挙げられており、近年増加していると想定されています。しかし、我が国の全妊娠に占めるRPOC発生の割合や転帰等、未だに全容を把握できていません。本研究は日本におけるRPOCの実態について明らかにすることを目的としています。
研究方法	全国の総合周産期センター、地域周産期センターを対象に、RPOCと診断された患者様の診療記録を用いた後方視的観察研究です。2019年1月～2019年12月に当センターで分娩され、RPOCと診断された方が対象になります。当センターの情報は匿名化され、研究事務局のある三重大学付属病院産婦人科に郵送します。全国から集められたデータは三重大学付属病院産婦人科で解析され、学会等で公表されます。上記対象に該当する方で、本研究に登録を希望されない方はご連絡下さい。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：井出 早苗 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604